

学術情報処理研究投稿規定

平成 11 年 5 月 13 日改定
(平成 10 年 4 月 16 日制定)

1. 本誌に掲載する記事は未発表のもので、その分野と種類は以下のとおりとする。
分野
 - (1) 学術情報処理の研究・開発、教育に関するもの
 - (2) 学術情報処理施設の設計・管理・運用に関するもの種類
 - (1) 査読付き論文
 - (2) 学術情報処理研究集会予稿
 - (3) 解説
 - (4) 報告
 - (5) その他
2. 投稿者は、原則として大学の総合情報処理センター及び情報処理センター関係者・利用者とするが、必ずしもこれに限るものではない。
3. 査読付き論文の場合、投稿者は原稿 2 部（1 部はコピー可）を編集委員会に届けるものとする。その他は、そのままオフセット印刷ができる形の原稿を 1 部提出するものとする。また、それとは別に電子的媒体（電子メール、FTP、フロッピー等）による原稿も 1 部提出するものとする。
4. 査読者は、編集委員会の議を経て、編集委員長がその該当分野の専門知識を有する者に依頼する。1 名による査読者が掲載不可と判断した場合、更に 2 名の査読者の判断をもって掲載の可否を決定するものとする。
5. 本誌に掲載された著作物の著作権は、すべて編集委員会に属することとする。
6. 本誌は冊子体で配布するほか、同じ内容がWWWにより公開される。
7. 査読付き論文の場合は有料で別刷り 50 部を最低とし、それ以上は 50 部単位で受け付ける。
8. 著者校正は 1 回とする。校正の際に原文を大きく改変することは許されない。
9. 原稿は原則として返却しない。返却希望があれば、返信料を添えて投稿時に申し出ること。
10. 原稿の分量は以下の文字数を目安とする。

査読論文	～20000 文字程度	(A4 40 行×43 文字で	～12 ページ程度)
研究集会予稿	～10000 文字程度	(A4 40 行×43 文字で	2～5 ページ程度)
記事等	～10000 文字程度	(A4 40 行×43 文字で	4～6 ページ程度)

上記は図表を含む場合、それも含めた目安とする。
11. その他詳細は、別途「原稿の作成の手引き」によるものとする。